

平成23年度 ふるさと創生基金事業提案書

事業名	小国芸術村特別展「紙の使い手」小川原めぐみ作品展
事業主体	長岡市小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会
事業の目的・内容	<p>【目的】</p> <p>無形文化財「小国和紙」を基軸として行われる催事であり、都市との交流や体験を通して小国の魅力を発信する。</p> <p>また、地元小学生等に和紙創作活動を通して、より身近に感じる感性を育む。</p> <p>【内容】</p> <p>地元3小学校で和紙体験による特別授業を実施する。</p> <p>当地区山野田に20年余りに亘り工房を構え、和紙一枚一枚に自ら染色、描画している坂本直昭氏の紙を、新進の紙工芸作家、小川原めぐみ氏が屏風、灯り、コラージュ、額、軸などに仕立てた作品の展示を行うもの。</p>
事業の実施による効果	<p>児童・生徒にとっては、第一線で活躍されている作家と直に接し、作品に触れ、手ほどきを受けることにより、感性が磨かれるなど意義深いものがあり、小国和紙がより身近なものとして受け入れられる。</p>
実施スケジュール	<p>展示会の会期</p> <p>平成23年4月27日(水)～5月15日(日)</p> <p>4月27日 午前10時 開会式</p> <p>11時 作家による作品説明会</p> <p>午後1時 小学校特別授業(渋海小)</p> <p>28日 午前9時 同上(上小国小)</p> <p>午後1時 同上(下小国小)</p>
担当課・担当者	小国支所 地域振興課 藤田 豊

平成23年度 ふるさと創生基金事業提案書

事業名	小国の魅力発信事業
事業主体	長岡市小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会
事業の目的・内容	<p>【目的】</p> <p>小国地域が築き上げてきたグリーン・ツーリズムや「もちひとまつり」に代表される各種のまつりイベント等、地域観光資源を内外に発信するため、平成22年度にふるさと創生基金事業により長岡市小国町の公式ホームページを開設したが、未作成のコンテンツ（歴史資料館、小国名人マップ）があるため、これらを充実させて情報発信し地域の活性化を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>きめ細かい小国地域の観光情報や文化的行事等を発信することができ、常に新しい情報に何時でも更新が可能な、小国専用のWEBサイトを充実させる。</p>
事業の実施による効果	<p>小国専用のWEBサイトを充実させることで、小国地域の観光資源、歴史的文化資源やグリーン・ツーリズム、更には魅力ある商業、地域特性を生かした工業も併せて内外に発信することができ、インターネット上での利便性を活かした情報発信により、地域の活性化が図られる。また、長岡市ホームページからもリンク可能とし汎用性を拡大することが可能。</p>
実施スケジュール	<p>【平成23年度】</p> <p>5月上旬 … ホームページ作成(コンテンツ追加)業務委託発注</p> <p>5月下旬 … 原稿・素材提供及びデザイン作成 コーティング及びシステム構築</p> <p>6月中旬 … デザイン、コーティング、システム修正・検証</p> <p>6月下旬 … ホームページ(コンテンツ追加)公開</p> <p>ホームページ全体の運営・メンテナンスは、「小国観光協会よっていがんかい」に委託して、より細やかなタイムリーな情報(お店紹介等)を発信していく。</p> <p>【平成24年度以降】</p> <p>ホームページ全体の運営・メンテナンスを「小国観光協会よっていがんかい」に委託して、より細やかなタイムリーな情報(お店紹介等)を発信していく。</p>
担当課・担当者	小国支所 産業課 田中一久

平成23年度 ふるさと創生基金事業提案書

事業名	(仮)小国地域のこれからの医療と福祉を考えるシンポジウム ～一人ひとりの住民が支えていく小国地域を目指して～
事業主体	小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会
事業の目的・内容	<p>【目的】 小国地域では人口の減少とともに少子高齢化が急速に進行している。高齢化が進む中で地域の暮らしや健康を守り、医療環境を維持推進していくことが大きな課題となっている。地域におけるこれまでの医療環境の変遷をふまえ小国地域が抱える医療・福祉・保健の現状と課題を共有し、今後の方向性を考える機会とするため、広く地域住民の参加を募り地域医療への理解を深めることを目的にシンポジウムを開催する。</p> <p>【開催期日】 H23年7月を予定</p> <p>【会場】 小国会館</p> <p>【内容】</p> <p>第1部 基調講演 演題 「 協議中 」 講師： 金子所長 (小国診療所)</p> <p>第2部 パネルディスカッション コーディネーター： 金子所長 パネリスト 計6名 ・医療関係者 ・福祉関係者 ・保健関係者 ・一般住民</p> <p>第3部 特別講演会 演題 「 未定 」 講師：「 未定 」</p>
事業の実施による効果	<p>小国地域の住民が住み慣れた地域で必要な医療を受けながら安心して生活していくためには、医療関係者だけでなく住民一人ひとりが医療の一方の担い手であるとの認識のもとに、地域の医療を支えていくことが求められている。シンポジウムでは、「住民が地域の医療を支えていく」という視点から、地域住民ができることは何か、参加者とともに考えていく機会となる。</p>
実施スケジュール	<p>H22年12月～ 地域委員会第1分科会にて開催計画の協議</p> <p>H23年1月～ 実行委員会の組織化</p> <p>H22年12月～H23年1月 講演会の講師選考調整 パネリストの選考調整</p> <p>H23年4月～6月 広報・PR活動</p> <p>H23年8月～9月 報告書の作成、配布</p>
担当課・担当者	小国支所市民生活課 (保健係・福祉係)